

平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ニチリョク

コード番号 7578 URL <http://www.nichiryoku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 寺村 久義

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営統括本部長

(氏名) 矢田 欣也

TEL 03-3396-3052

四半期報告書提出予定日 平成29年2月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	2,845	13.9	112	92.0	39	—	7	—
28年3月期第3四半期	2,498	8.8	58	—	△12	—	△26	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	0.56	—
28年3月期第3四半期	△2.15	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
29年3月期第3四半期	12,053		3,658		30.3	292.72
28年3月期	11,605		3,730		32.1	298.49

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 3,658百万円 28年3月期 3,730百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
29年3月期	—	0.00	—		
29年3月期(予想)				7.50	7.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,400	19.3	580	92.3	450	117.2	220	112.0	17.60

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	13,741,014 株	28年3月期	13,741,014 株
29年3月期3Q	1,244,089 株	28年3月期	1,244,089 株
29年3月期3Q	12,496,925 株	28年3月期3Q	12,497,180 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、英国の欧州連合(EU)離脱決定や米国大統領選挙のトランプ氏勝利を受けた一時的な世界同時株安があったものの、日経平均株価は堅調に推移しました。

一方の実体経済は、雇用者数の増加、物価上昇率の低下により実質所得は押し上げられたものの、社会保障に対する将来不安に起因する消費者意識の悪化等もあり横這いに推移しました。

当社が属する供養産業は、死亡者が増加傾向にあるにもかかわらず、霊園事業においては、埋葬の選択肢の多様化に伴い、比較的高価格となる墓地墓石の購入者は年々減少の一途にあります。この流れに対応すべく当社は、様々なお墓の形態を兼ね備えた霊園を開発、開園すると共に、供養の全てを網羅し、価格においてもご満足いただける堂内陵墓事業への拡充を図っております。

葬祭事業においては、葬儀の小規模・地味化傾向が顕著となる中、インターネット媒体を中心に業者間の価格競争は激化し、施行単価が一層下落するという厳しい環境下にあるものの、生花祭壇葬「愛彩花(あいさいか)」並びに家族葬を中心としたラステル葬は、顧客満足度が上昇すると共に認知度も向上しており、施行件数は順調に増加しております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高28億4千5百万円(前年同四半期比13.9%増)、営業利益1億1千2百万円(前年同四半期比92.0%増)、経常利益3千9百万円(前年同四半期経常損失1千2百万円)、四半期純利益7百万円(前年同四半期純損失2千6百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 霊園事業

屋外墓地につきましては、埋葬の選択肢の多様化に伴い比較的高価格となる墓地墓石の買い控えや小規模区画傾向が続く消費動向に対応すべく、広告並びに販売戦略の見直しを適宜行っております。平成27年8月に開園した「横浜三保浄苑(横浜市緑区)」の認知度が高まったこともあり、売上高は10億1千7百万円(前年同四半期比13.9%増)となりました。

② 堂内陵墓事業

第五号「両国陵苑(東京都墨田区)」は、消費者の価値観を超える重厚な施設と立地が反響を呼んでおり、計画を上回る販売実績をあげ、完売間近となりました。売上高は6億9千3百万円(前年同四半期比38.2%増)となりました。

③ 葬祭事業

死亡者数が年々増加傾向にある中、当社は終活セミナー等を開催し、潜在顧客を受注に繋げる取組みを積極的に行っております。会員制の生花祭壇葬「愛彩花」並びに家族葬・直葬施設を併設した独自のブランド「ラステル(ラストホテル)」は、「小規模でありながらも心のこもった葬儀」を望む現代の消費者から好評を得ており、施行件数は双方共順調に増加しました。売上高は11億3千4百万円(前年同四半期比2.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における資産合計は、120億5千3百万円となり、前事業年度末に比べ4億4千8百万円増加しました。

流動資産は、前事業年度末に比べ、7億9千3百万円増加し、42億5百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金8億8千7百万円の増加、売掛金1億2千1百万円の減少によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べ、3億4千5百万円減少し、78億4千8百万円となりました。その主な要因は、差入保証金3億2千8百万円の減少によるものです。

流動負債は、前事業年度末に比べ、2億3百万円増加し、35億4千3百万円となりました。その主な要因は、短期借入金1億7千万円及び1年内返済予定の長期借入金1億6千7百万円の増加、未払法人税等8千9百万円の減少によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べ、3億1千6百万円増加し、48億5千1百万円となりました。その主な要因は、長期借入金3億7千8百万円の増加、社債1億2千3百万円の減少によるものです。

純資産は、前事業年度末に比べ、7千2百万円減少し、36億5千8百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金8千6百万円の減少によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成28年5月6日の「平成28年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,227,849	3,115,143
完成工事未収入金	79,390	139,150
売掛金	269,258	147,578
永代使用权	267,375	243,172
未成工事支出金	353,376	323,121
原材料及び貯蔵品	88,738	87,422
その他	125,746	149,817
貸倒引当金	△15	△47
流動資産合計	3,411,720	4,205,358
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	951,359	899,476
土地	1,535,523	1,535,523
その他(純額)	18,241	19,565
有形固定資産合計	2,505,124	2,454,565
無形固定資産	255,827	249,849
投資その他の資産		
長期貸付金	123,856	109,226
差入保証金	2,306,487	1,978,043
霊園開発協力金	1,456,713	1,456,713
その他	1,579,716	1,632,713
貸倒引当金	△34,192	△32,772
投資その他の資産合計	5,432,580	5,143,924
固定資産合計	8,193,532	7,848,340
資産合計	11,605,252	12,053,698
負債の部		
流動負債		
買掛金	108,871	82,292
短期借入金	291,630	461,836
1年内返済予定の長期借入金	1,576,537	1,743,835
1年内償還予定の社債	597,800	603,000
未払法人税等	90,975	1,615
賞与引当金	40,500	16,800
その他	633,649	634,283
流動負債合計	3,339,963	3,543,663
固定負債		
社債	1,041,500	918,000
長期借入金	2,970,965	3,349,642
退職給付引当金	305,703	345,920
役員退職慰労引当金	184,765	201,362
その他	32,150	37,016
固定負債合計	4,535,084	4,851,941
負債合計	7,875,047	8,395,605

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,306,842	1,306,842
資本剰余金	958,082	958,082
利益剰余金	1,693,714	1,607,040
自己株式	△227,869	△227,869
株主資本合計	3,730,769	3,644,095
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	30,221	43,920
繰延ヘッジ損益	△30,786	△29,922
評価・換算差額等合計	△564	13,997
純資産合計	3,730,205	3,658,093
負債純資産合計	11,605,252	12,053,698

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	2,498,727	2,845,567
売上原価	829,675	940,170
売上総利益	1,669,051	1,905,397
販売費及び一般管理費	1,610,382	1,792,770
営業利益	58,669	112,626
営業外収益		
受取利息	2,439	1,801
受取配当金	11,044	10,983
協賛金収入	5,741	7,167
その他	16,373	14,985
営業外収益合計	35,597	34,936
営業外費用		
支払利息	98,810	94,578
その他	7,762	13,147
営業外費用合計	106,572	107,725
経常利益又は経常損失(△)	△12,305	39,837
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産売却損	—	286
固定資産除却損	0	305
特別損失合計	0	592
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△12,304	39,245
法人税、住民税及び事業税	12,142	28,867
法人税等調整額	2,402	3,324
法人税等合計	14,544	32,192
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△26,849	7,052

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。